

令和7年度

公共事業評価に係る意見について

評価対象事業

響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業

北九州市公共事業評価に関する検討会議

令和7年11月19日

## 1 対象事業

| 事業名                      | 事業箇所          | 事業費      | 事業期間         |
|--------------------------|---------------|----------|--------------|
| 響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業 | 八幡東区<br>平野一丁目 | 2,557百万円 | 令和8～<br>10年度 |

国際村交流センターは、響ホールや生涯学習センター等からなる複合施設で、多くの市民に利用されている。

また、響ホールは北九州市で唯一の音楽専用ホールで、演奏家からも高い評価を得ており、市民に質の高い音楽芸術に触れる機会を提供している。

一方で、建築後30年以上を経過し、全館にわたり老朽化等による雨漏りなどが発生し、これに起因する天井パネルの落下も発生している。

また、ホール天井やエレベータは改正された建築基準法施行令に対して既存不適格の状況である。

本事業は、国際村交流センター全体の屋上と外壁の防水改修、共用設備の更新を行うとともに、響ホールの特定天井の改修、バリアフリー化等を内容とする大規模改修を実施するものである。

## 2 事業の進め方についての意見

「響ホール・国際村交流センター共用部大規模改修事業」を本計画どおり進めいくことについて、すべての構成員が「異論はない」との意見であった。

## 3 構成員の主な意見

事業の推進にあたっては、下記の意見があった。

### (1) 事業費が増額する場合の対応について

壁面からの湧水対策についてはなるべく早く工法の検討を行うとともに、昨今の物価高騰によって事業費が大幅に増額する場合は、改修内容を一部見直すことも含めて検討していただきたい。

### (2) バリアフリー化について

誰もが使いやすい施設となるよう、改修にあたっては更なる工夫をしていただきたい。

### (3) 施設の付加価値を向上させる取組みについて

収益性や北九州市、施設のイメージを高めるため、施設の付加価値を向上させる取組みを検討していただきたい。

#### 4 北九州市公共事業評価に関する検討会議 構成員

(五十音順、敬称略)

| 氏名                 | 役職等                      |
|--------------------|--------------------------|
| きど まさえ<br>城戸 將江    | 公立大学法人北九州市立大学 国際環境工学部 教授 |
| さいとう ゆりえ<br>齊藤 由里恵 | 学校法人梅村学園中京大学 経済学部 准教授    |
| たなか やすこ<br>田中 康子   | 株式会社大屋設計 執行役員 所長         |
| はらだ みどり<br>原田 緑    | 北九州商工会議所 女性会 副会長         |
| みなみ ひろし<br>南 博     | 公立大学法人北九州市立大学 地域戦略研究所 教授 |
| もりなが けい<br>森永 啓    | 株式会社日本政策投資銀行 九州支店 企画調査課長 |
| よしたけ てつのぶ<br>吉武 哲信 | 国立大学法人九州工業大学大学院 工学研究院 教授 |